



好奇心旺盛なスタッフがめぐる！

ASA探検隊

いまでも冷たい地下水が湧き出る♪ 上粕環濠集落を歩こう

先月の山城グリーンスポットから、今月は、山を下り上粕環濠集落の探検です。

集落の境界を示すように掘られた「濠」。その濠に囲まれた地域での暮らしの営み。日本列島では、弥生時代から中世にかけて各地で造られたそうです。低地の集落では掘に「水」が流れ「環濠」と呼ばれ、高地の集落の堀は「空掘り」で「環濠」と漢字の違いで区別されているようです。

上粕環濠集落

この上粕環濠集落は、南北約600m、東西約300mの大きさで、中世期に形成されたもの。

JR上粕駅を起点に、かつて駅前の福井商店さんで買い求めた「山背古道探検スケッチブック」を片手に、国道24号線方向へ歩きます。まもなくの交差点で「山」をシンボルとした「山背古道道標」が道に埋め込まれています。この先を少し行けば、お目当ての環濠に出合います。

「室町時代に興福寺領の粕野荘を中心に構成され、大里は粕野荘の南之荘の中心集落だった。堀のうちに土塁を築き、竹藪や雑木林を連ねて暮らしを営んだ…」と案内板にありました。

国道24号線と並行する堀沿いの住宅には、その掘りに小さな橋が架けられ、今も環濠集落の佇まいを伝えています。

大里の大井戸

その国道24号線と並行する堀沿いを北に歩き、「大里の大井戸」を目指します。豊かな掘の水の流れは、集落にも大切な水源となっていたようで、地図にもあるように、郷の辻には、「郷井戸」と呼ばれる共同井戸がいくつもあります。なかでもこの大井戸は、「粕どの井戸」や「戌亥(いぬい)の井戸」と呼ばれて、直系2mを超える立派なもので、郷の人々に大いにうおいを与えてきたのでしょう。

この井戸の前でスケッチをしていると、「井戸横の地下水をお飲みやす」とご当家の花田さんに声をかけていただき、早速、ご相伴。地下水の冷たさは格別で、ガブガブと美味しく頂いたのでした。

さて、大井戸のフタを閉めて、まさかの美味しい水をいただいて、元気100倍のパワーで歩きます♪



細い道を抜けると大通りの上粕小学校あたり。松原邸の大きな土蔵が見事に迫る光景を見ながら、この集落の中心人物の粕氏の菩提寺「西福寺」へ行きました。本堂の屋根に一对のシャチ。この近辺では、神童寺の山門で見かけたくらいで、勇壮な気配を感じます。

表通りにふたたび戻り、さらに南へ歩いていると、ぱったり出会ったのは、小林家住宅の郷土史家、小林さん。

ラッキーな出会いに喜んでいると、「何してはるんや?」「野日代(のふたい)の井戸を探してるんですわ」と、ひとことふたこと交わしている間に、その井戸にご案内頂きました。

石組みの見事なこの井戸をやぐるま菊が取り囲みピンクの花を咲かせています。つるべの遺構を見ているだけで、カポーンと井戸に落とした桶の音が響いてきそうです♪ スケッチをしている間も、いろいろとご説明を受け、まさに「井戸端会議」のひとつでした。

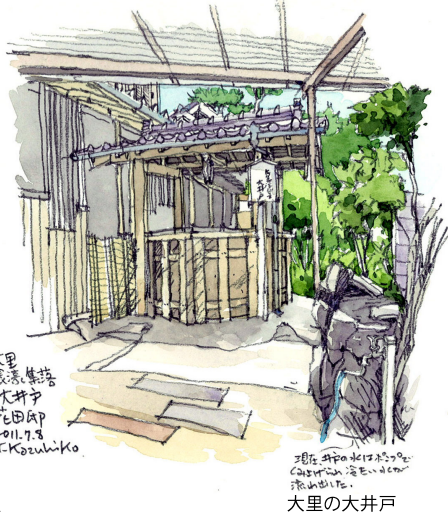
0 100 200m

<参照>山城町広報「やましろ」平成5年12月号

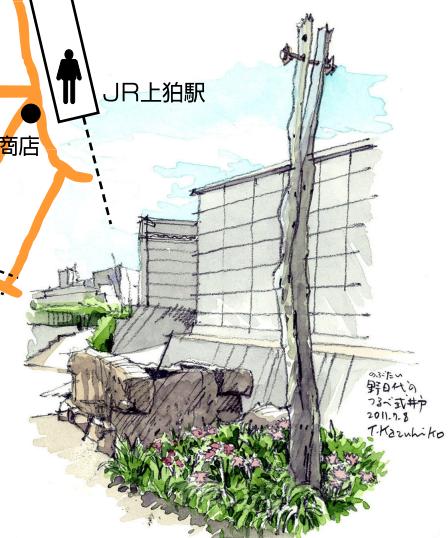
風化がすすみ古色の野日代の井戸



松原邸の土蔵



大里の大井戸



その昔、低地集落が堀に囲まれて、豊かな水源とともに暮らしが営まれてきた上粕環濠集落。その集落中央を南北に貫く奈良街道には、北の門口と中の門口ほか、6ヶ所に門が構えられ、自営自治が続けられていたとか。

今回「極上の冷たい地下水」を味わうというラッキーハブニングを経験しながら、町並みに残る点景に、しばし歴史ロマンに浸った探検となりました♪



ASA木津のまかない料理♪

ASAスタッフ 上善

大根とじゃこの炒めもの♪

シャキシャキと頂く相性ぴったりのカンタン炒め物

<材料>2人分

・大根・・・5cm ・しょうが・・・1かけ ・じゃこ・・・20g
・油・・・小さじ1 (A)しょうゆ 小さじ1、みりん 小さじ1

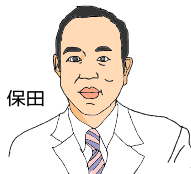
①大根は5cm幅の拍子木切りにし、しょうがは千切りにする。

②鍋にサラダ油を熱し、じゃこ、しょうが、大根の順に尾炒めします。あらかた火が通れば、調味料(A)を加え、もう少し炒めします。

※大根は、シャキシャキ感が残るように、炒めすぎには注意して下さいね。

ASA スタッフ日記

キュウリで涼を



保田

猛暑真っ只中、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年はとにかく節電が求められ、暑さ対策に我が家もあれこれとチャレンジしています。

そのなかで毎年しているのが『キュウリの天然すだれ』です。6月に苗を2株植え、ポールにネットを張り、窓辺にセット。意外と簡単で手間もかからず、しかも食材が手に入るので一石二鳥。3週間もすれば天然すだれの出来上がり。

お店で並ぶようなきれいな形は少なく、「く」の字や渦巻き型、へちまのように大きいとか、それも風情があつていいかな、と思っています。おかげで我が家では夏の間、キュウリが主食のように毎日食卓に並びます。

節電のために!というより、涼を楽しむ工夫と考えれば、もっとアイデアが生まれるのかなと思います。



お散歩で
まじまじと

アーモンド

名前も毛の色もアーモンド。よく食べ、よく遊び、いたずら満載! いびきをかいて寝ていると思ったら、自分のオナラで飛び起きる! これからも元気で、ユーモアを発揮してね♪

■山城町 古川さま